



LET'S PLAY Indiaca

28 2005.7

〒101-0061
東京都千代田区三崎町2-20-7
水道橋西口会館内
TEL.03-3512-2801
FAX.03-3512-2802
E-mail: JIA@japan-indiaca.com

Japan Indiaca Association ● (社)日本インディアカ協会

社団法人 日本インディアカ協会

平成17年度事業計画 (抜粋)

2004年を象徴する言葉が「災」になったように、新潟中越地方を襲った大地震、スマトラ沖大地震による大津波により空前の大被害をもたらしてしまった。特に新潟中越地震では、我々のインディアカ仲間も大きな被害を受けている。心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

このような中であって2004年8月21日～24日には、茨城県つくば市において「第2回インディアカ世界選手権大会」が開催され、世界6カ国200数十名の選手役員が一堂に会し熱い戦いが展開され、国際親善・交流が十分に行われ、多大の成果を上げて終了した。

各レベル(都道府県・ブロック・全国・国際)の大会は徐々に整備され、大会参加のニーズは満たされていると思われる。

組織の充実発展は、会員、公認審判員の拡大と共にその資質の向上にも努めなければならない。また、組織を支える人材と共に重要なことは、インディアカの今後の進むべき方向を考え、示さなければならない。

一方、会員、公認審判員の全国分布を見ると、都市部にその数が集中し、都市部以外の道府県との差が顕著である。

本年度の重要課題として昨年に引き続き都市部と地方との差を少しでも縮めるため、積極的な対策を講じたい。具体的には日本協会から委嘱された認定員に協力を仰ぎ、最低1年間に1～2回の「普及審判員認定講習会」を開催するよう強くすすめ、人材数格差を少しでも縮めたいと考える。

【競技会の開催】

〔各種全国大会〕

- 『第11回(2005年ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ)』
 - ・ 2005年5月29日(日) 東京都体育館 128チーム(700名)
 - ・ 日本インディアカ協会の個人会員、公認審判員を対象にして毎年1回開催され、日頃の練習の成果の発表の場として、会員相互の親睦・交流の場として評判の高い大会である。
- 『第1回全日本インディアカトーナメント』
 - ・ 2005年5月28日(土) 東京都体育館 80チーム(480名)

この大会は、平成17年度から新しく開催されるも

ので、今回が第1回大会となる。

市町村大会→都道府県大会→ブロック大会へと組織的に連動した初めての試みである。以後毎年開催したいと考えている。

20数年の歴史の中で、いくつかの組織は、自由に参加者を募り「交流親善大会」と称して、市町村協会がブロック大会と同じレベルの大会を開催し、ルールをはじめ、参加者の所属協会が困惑している現実がある。日本協会としては、ブロック大会、全国大会のあり方を見直し、その特徴や意義を盛り込んだ大会を開催したい。

- 『第28回全国インディアカ大会』
 - ・ 2005年9月18日(日)
 - 東京都武蔵野市「武蔵野市総合体育館」
 - 80チーム(480名)
 - 「第59回全国レクリエーション大会」の中で開催される。
- 『第18回全国スポーツ・レクリエーション祭』
 - ・ 2005年10月1日(土)～10月4日(火)
 - 岩手県花巻「花巻総合体育館」 48チーム(480名)

〔ブロック大会〕

- 『北海道・東北ブロックインディアカ大会』
 - ・ 2005年9月11日(日)
 - 山形県山形市「山形市スポーツセンター」
 - 60チーム(360名)
- 『関東甲信越ブロックインディアカ大会』
 - ・ 2005年9月4日(日)
 - 埼玉県所沢市「所沢市民体育館」 80チーム(480名)
- 『東海・北陸ブロックインディアカ大会』
 - ・ 2005年10月30日(日)
 - 岐阜県関市「関市総合体育館」 60チーム(360名)
- 『中・四国ブロックインディアカ大会』
 - ・ 2005年6月12日(日)
 - 岡山県倉敷市「水島緑地福田公園体育館」
 - 72チーム(400名)
- 『関西ブロックインディアカ大会』
 - ・ 2005年5月15日(日)
 - 兵庫県西宮市「兵庫県立総合体育館」
 - 48チーム(250名)

- 「九州・沖縄ブロックインドiak大会」
未定

【競技規則の改正及び作成】

この度、平成13年の競技規則改正以来、多方面から数々のご意見並びに励ましをいただき慎重に検討を加えた、総務委員会の議を経て、別添「インドiak競技規則改正案」とし、平成18年4月から実施する。この感、周知の徹底を図り、円滑に移行できるように努めることとする。

また、ジュニア用インドiak競技規則を制定し、次世代を担う人材を養成してゆく。

【国際交流事業】

〈International Indiac Association〉

・定例理事会の開催。

〈期 間〉：2005年5月14日（金）～16日（土）

社団法人 日本インドiak協会

平成16年度事業報告（抜粋）

平成16年度は、大自然の猛威により日本はおろか世界中に大きな被害を与え、つらい1年間でありました。その悲しみを乗り越え一日も早い復興をお祈りするものである。

このような状況の中にあって、日本インドiak協会は、過去に例をみない大きなかつ重要な意味を持つ大会である。「2nd Indiac World Championships in Tsukuba」を組織し、大きな成果をあげて終了することができた。ごく限られた人数のスタッフが言葉の壁を乗り越え、日夜寝る間も惜しんで活動していただいた賜物と深く感謝している。

また、毎年楽しい雰囲気で開催されておりました交流大会「Japan Friendship Indiac League Match」は、会場である「東京体育館」の都合で開催することができず、多くの選手、愛好者にご迷惑をおかけいたしました。

一方、個人会員、公認審判員については、事務手続きの合理化、有効期限が短すぎるという一般会員、各協会からの声を受け、平成13年に実施いたしました「各資格有効期限の延長」による更新者数の谷間にあたり、更新対象者が著しく少ない年にあたってしまった。従って日本協会をはじめ、各都道府県協会においても組織運営に大きな影響を与えたことは否めない。しかし、この逆境を乗り越えたことも事実であり、この試練はこれからの組織運営にも必ず生かされると信じる。

インドiak競技規則については、昨年度末に開催されました「正会員総会」に改定案が提案され、平成18年4月1日から実施されることで承認された。17年度は改定部分の理解を深める活動を実施することになっている。

【競技会の開催】

〔国際大会〕

「2nd Indiac World Championships in Tsukuba」

・2004年8月21日（土）～24日（火）

・茨城県つくば市「つくばCapio」

※詳細は別掲

〈場 所〉：ベルリン

〈インドiakのアジアへの普及〉

国際インドiak協会は、ヨーロッパだけではなく、インドiakを世界中に広げて行くことを目的に掲げている。

中でもアジアに於けるインドiakの普及は、日本が進出しなければならない。

アジア各国の情報を収集し、交流する機会を見つけると同時に、在留しているアジア各国の学生、一般人との交流も計画していきたい。

また、多様なイベントを開催している団体・旅行社からの勧めもあり、タイへの普及を考えていく。

・〈タイ研修旅行〉タイ（主にチェンマイ市）在住の市民とのインドiakによる交流

・〈期 日〉未定

・〈参加費〉1名：150,000円～180,000円位

〔全国大会〕

1. 「第17回全国スポーツ・レクリエーション祭」

・2004年10月3日（日）～10月4日（月）

・福井県大野市「大野市エキサイト広場総合体育館」

・48チーム（480名）

2. 「第27回全国インドiak大会」（第58回全国レクリエーション大会）

・2004年9月19日（日）

・鳥取県鳥取市「鳥取市民体育館」

・34チーム

3. 「第7回全日本シニアインドiak大会」

兼「北海道・東北ブロックマスターズインドiak大会」

・2004年6月20日（日）

・北海道函館市「函館市民体育館」

・64チーム

〔ブロック大会〕

1. 「北海道・東北ブロックインドiak大会」

・2004年9月12日（日）

・宮城県白石市「白石市文化体育活動センター」

・66チーム

2. 「関東甲信越ブロックインドiak大会」

・2004年6月27日（日）

・神奈川県横須賀市「横須賀市総合体育館」

・80チーム

3. 「東海・北陸ブロックインドiak大会」

・2004年9月5日（日）

・愛知県豊橋市「豊橋市総合体育館」

・79チーム

4. 「関西ブロックインドiak大会」

・2004年10月3日（日）

・大阪市「大阪府立体育会館」

・24チーム

5. 「中・四国ブロックインドiak大会」

・2004年5月23日（日）

- ・高知県南国市「南国市立スポーツセンター」
 - ・84チーム
6. 「九州ブロックインディアカ大会」
- ・2004年11月21日（日）
 - ・長崎県島原市「島原復興アリーナ」
 - ・49チーム

【国際交流】

〈インディアカ国際審判インディアカ資格取得者〉

1. 坂口 進（埼玉県） 2. 佐伯加寿美（埼玉県）

- | | |
|---------------|----------------|
| 3. 中嶋 研一（千葉県） | 4. 塚原 桂子（千葉県） |
| 5. 千葉 勝美（千葉県） | 6. 橋本 邦男（広島県） |
| 7. 伊藤 昭治（愛知県） | 8. 米田 穂積（東京都） |
| 9. 本沢 光一（栃木県） | 10. 前原 良啓（東京都） |
| 奥田 幸夫（千葉県） | 山崎 憲（東京都） |
| 長谷川忠信（神奈川県） | 鴻野真知子（大阪府） |
| 瀬戸 章嘉（大阪府） | 西田 真弓（大阪府） |
| 松原 京子（大阪府） | 宮城 重男（東京都） |
| 石井不士男（東京都） | 塩脇 紀子（千葉県） |
| 田口 久男（千葉県） | ※番号付きは16年度取得者 |

【全国大会】

《1st All Japan Indiacca Tournament》

・去る5月28日（土）「東京体育館」で開催された標記大会は、全国5ブロックの代表5部門（シニア女子、シニア混合、一般男子、一般女子、一般混合）62チームによって熱い戦いが繰り広げられた。

インディアカの頂点を極めるこの大会は、全国大会にふさわしい最高レベルのプレーが展開され、終始興奮と感動につつまれ、インディアカ25年の歴史の集大成とも言える大会であった。上位入賞チームには、2006年8月10日（金）～14日（火）にエストニアのヴィリヤンディで開催される「第2回インディアカワールドカップ」に参加する資格が与えられる。

結果は別記の通りとなっている。

〈シニア女子の部〉

- 優勝 「ブルーウイング」 埼玉県
 準優勝 「フォルテシモ」 千葉県
 第3位 「スバルY・S」 埼玉県

〈シニア混合の部〉

- 優勝 「ファースト」 埼玉県
 準優勝 「WOODS INDIACA CLUB」 愛知県
 第3位 「フェニックス」 千葉県

〈一般男子の部〉

- 優勝 「ブラックイーグルス」 埼玉県
 準優勝 「HFM」 千葉県
 第3位 「トロピアン」 埼玉県

〈一般女子の部〉

- 優勝 「びたみん」 埼玉県
 準優勝 「ザ・イーズ」 埼玉県
 第3位 「アルファ」 千葉県

〈一般混合の部〉

- 優勝 「天元」 埼玉県
 準優勝 「プラスワン」 埼玉県
 第3位 「すずらん」 千葉県

《'05 Japann Friendship Indiacca League Match》

・5月29日（日）「東京体育館」で第1回トーナメントに引き続き、全国から113チームが参加して盛大に開催された。

この大会は交流・親睦を目的とし同じグループが協力して大会を創り上げていくものである。

各部門のバランスをとって全体を8グループに色分けし、そのカラーのTシャツをユニフォームにして競技に参加し、対戦毎の得点を集計して優勝グループを決定する方式で行っている。従って個々のグループの順位は決めず、グループの順位が決定され表彰される。

〈優勝〉「グリーン」

構成チーム：

- 湖北台C（千葉県） 石川のんき会（茨城県）
 八王子六体インディアカ（東京都） PEACE（千葉県）
 放虎クラブ（長崎県） シャトルランナーズ（埼玉県）
 MAX（埼玉県） ミックス・クイーンズ（千葉県）
 びあブルー（埼玉県） レインボー（千葉県）
 スマイル（愛知県） 総和クイーン（茨城県）
 ザ・イーズ（埼玉県） トーテム（東京都）

〈準優勝〉「ブルー」

構成チーム：

- DREAM（栃木県） チームにくきん（千葉県）
 Silk（埼玉県） 霞ヶ浦マロンズ（茨城県）
 ピンクパンサー（埼玉県） 御殿場愛好会（静岡県）
 FUSSA（東京都） 秦野ドリーム（神奈川県）
 武蔵野市ミセスフレンド（東京都） フェアリー（千葉県）
 遊朋倶楽部（埼玉県） ファミリー探検隊（栃木県）



大会前段ア・ラ・カ・ル・ト

2004. 8. 18 ~ 21

成田空港お迎え 18日



国際協会総会
21日



GENERAL ASSEMBLY



イタリアの加盟を承認します。

スタッフミーティング
19日



今日から6日間
頑張って運営を…



市民国際交流大会
21日

市民と大会参加選手が合同で
チームを編成しての交流試合



ようこそ日本へ…
歓迎します。

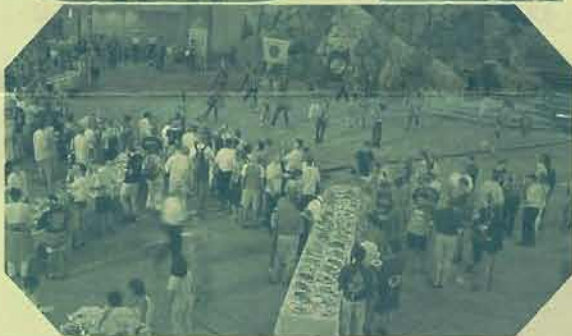
歓迎パーティー20日
つくばセンターひろば
参加者300名



掘って掘って
担いで担いで…



開会式 21日
カピオホール



いよいよつくば大会
の開会です!



今日初公開のつくば童謡
合唱団といいまして…



興奮すると逆立ちをした
くなる… (ヴィクトル)



第2回インディアカ世界選手権大会 2004.8.18～21（つくば市）

つくば「カピオアリーナ」



対戦結果：ドイツとエストニア “互角の実力”

	金	銀	銅
Men	Germany	Estonia	Luxembourg
Women	Estonia	Germany	アルファ・千葉
Mixed	Estonia	プラスワン・埼玉	Germany
Seni-Men	Germany	Estonia	WOODS・IC愛知
Seni-Woman	Germany	Estonia	Switzerland
Seni-Mixed	Estonia	鳥根アクアス	Switzerland

アリーナ正面



ジャンプ！ブロック！
ムム…届かないか



余裕の本部記録席

押塚常務とIIAヴィクトル
会長の真剣な相談は…



お互いお・つ・か・れ・さ・ま



金・銀・銅メダルいくらかでもあるよ



いよいよ、やっ
と私の出番ネ



記録も当然国際審判員が



“Senior-Womenの表彰”日本は…残念！



メダルを貰えた人、貰えない人も、一緒に…



4年後ルクセンブルグでまた会える日を…

